

証券コード：5142

あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles



未来へ世界へ、 ……ing.

第96期 報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

CONTENTS

トップインタビュー	P1
セグメント別事業の概況	P3
トピックス	P9
連結財務ハイライト・連結財務諸表	P11
会社概要／株式の状況	P13

トップインタビュー

株主・投資家の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。

当社グループの第96期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

Q 第96期を振り返ってのご感想をお願いします。

A 当連結会計年度における経済情勢は、国内経済は雇用・所得環境の改善が進むなか原油価格の安定により堅調な回復が期待されたものの、個人消費の低迷が長期化し、鉱工業生産も弱含みとなりました。海外では米国経済が好調を継続し、先進各国経済も回復へ向かうと思われましたが、中国をはじめとするアジア新興国や資源輸出国の景気下振れにより、世界経済も予断を許さない情勢が続きました。また原油価格低下の効果はあるものの、不安定な為替相場や株価の下落は消費意欲を押し下げ、企業活動にも影響を与えるなど厳しい事業環境が継続しました。

代表取締役社長

伊藤 亨

Q どのような取り組みをされたのが具体的にご説明下さい。

A このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、ブランド力・魅力ある商品創りと製品の拡販に注力してまいりました。具体的には省エネルギー関連製品、環境対応製品、スポーツ健康関連製品などの成長分野と、インフラ整備、防災関連分野およびグローバル化へと積極的な事業展開を推進するとともに徹底したコストダウンに取り組んでまいりました。



その結果、当期連結業績は売上高88,344百万円(前期比0.8%減)、営業利益1,865百万円(前期比104.3%増)、経常利益2,394百万円(前期比61.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2,543百万円(前期比97.5%増)となりました。

Q 今後に向けての事業展開についてご説明下さい。

A 今後わが国の経済見通しは、雇用・所得環境の改善が継続することで個人消費も回復に向かうものと期待され、すでに実施されている金融政策やTPPによる効果に加え、2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック関連市場やインフラ再整備事業も活発化すると考えられます。海外では、米国経済が引き続き世界景気を牽引すると期待されますが、世界各地で発生するテロ問題や、新興国や資源輸出国の景気動向および米国の金融政策正常化の影響には留意する必要があると思われます。

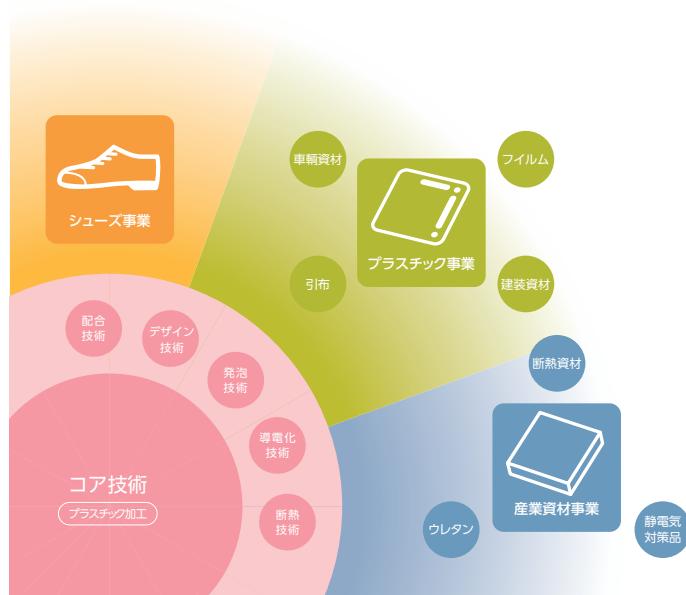
こうした国内外の事業環境のもと、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力するとともに省エネルギー関連製品、環境対応製品、スポーツ健康関連製品など成長分野とインフラ整備関連分野へ積極的な事業展開を行ってまいります。

Q 最後に株主・投資家の皆様に向けて一言お願いします。

A 当社グループは持続的な成長と企業価値の増大を目指して、グローバルな視点で見た優位性を活かすとともに独自技術を発揮した製品開発に注力し、社会から求められる企業集団として最善の努力をしております。

株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月



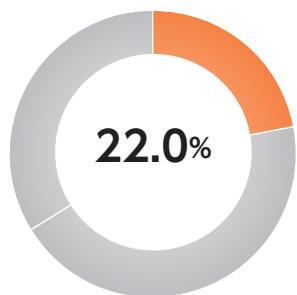
セグメント別事業の概況

シューズ事業

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」から新たに投入された、着地の衝撃を吸収する機能を搭載した「SYUNSOKU STORM」や、米国ブランド「アウトドアプロダクツ」は好調に推移しましたが、暖冬の影響によ

るブーツの伸び悩みとキャラクターシューズの低迷により、シューズ事業全体では前年売上を下回りました。

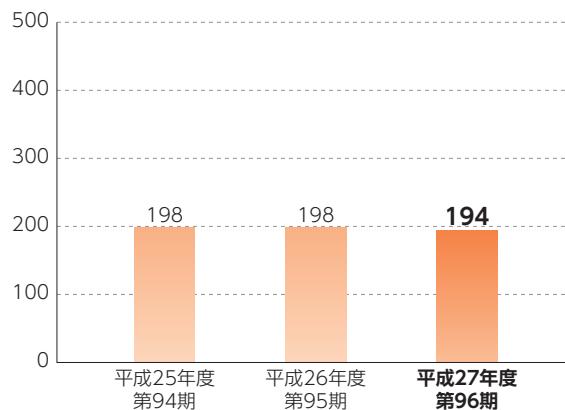
セグメント別売上高



■ 売上高 **194**億円
(前期比 **2.1**%減)

シューズ事業売上高推移

単位：億円



プロダクト インフォメーション

瞬足

今シーズンの「瞬足」は「SYUNSOKU STORM」がインパクトのあるTVCMの影響もあり好評を得て、「瞬足」歴代モデルの中でも1、2を争う売上で推移しています。また子供の足の健康を考え作られた「瞬足 足育シリーズ」もスポーツタイプのバリエーションが増え、子供の足に関心の高いお母様方に支持されています。



ACHILLES SORBO



アキレス・ソルボ

販売が好調な「アキレス・ソルボ」。歩きやすく、疲れにくい快適な歩行をサポートするウォーキングシューズです。スタイルアップ効果も兼ね備えた+5cmヒールの商品を新しくラインナップに加え、好評を得ています。柔らかいアッパーと高低差の少ないソールで、歩きやすいのが特長です。

ALL DAY Walk (オールデイウォーク)

“パンプスなのに歩きやすい”「ALL DAY Walk」は、東日本大震災を経験した働く女性たちの「非常時にも快適に歩けるおしゃれなパンプスを！」という声から生まれました。“20km歩けるパンプス”を基本コンセプトに設定し、順天堂大学スポーツ健康科学部バイオメカニクス研究室との産学協同プロジェクトのもと、実際に20km歩行テストを行い主観的運動強度測定で長距離歩行時の履き心地を分析するなど働く女性が求めるファッション性と歩きやすさを追求しています。

ALL DAY Walk



プラスチック事業

車輻内装用資材は、堅調な北米マーケット向けの伸長がありました。国内自動車販売の不振と中国・東南アジアマーケットの減速により、前年売上を下回りました。

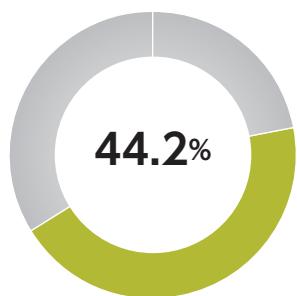
フィルムの国内事業は、内需関連が一般用で伸び悩み、前年売上を下回りました。輸出は、欧州向けや豪州向けの窓用フィルムが好調で前年売上を上回りました。北米事業は、医療用等が好調に推移しましたが、文具用が低迷し、前年売上を下回りました。農業分野は、生分解用

は好調でしたが、農業用ハウスの需要低迷の影響を受け、前年売上を下回りました。

建装資材は、住宅分野の需要回復が遅れ、床材・壁材ともに前年売上を下回りました。

引布商品は、輸出用のポートおよび引布原反が好調に推移しましたが、国内向けのポート、エアータントが苦戦し、全体では前年売上を下回りました。

セグメント別売上高



■ 売上高 **390**億円
(前期比 **2.4%**減)

プラスチック事業売上高推移

単位：億円



プロダクト インフォメーション



生分解性フィルム 「ビオフィレックスマルチ」

土中の微生物によって、二酸化炭素と水に分解される環境に配慮したフィルムです。柔軟性と強度に優れ、高い地温上昇効果や雑草防止効果も有しています。

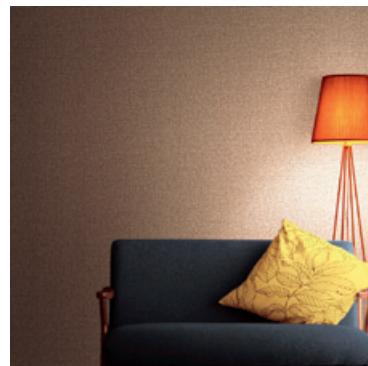
海外向けボート 「HB-310AL」

昨年から米国向けに販売を開始した新商品のゴムボートです。船底が従来のFRPではなくアルミで形成されることで、軽量化が図れ、好評を得ています。



海外向け壁紙 「OMDÉCOR (オンデコール)」

建装事業部の海外向け壁紙新コレクションです。2016年ドイツのHEIMTEXTILE (ハイムテキスタイル) 展で発表し、各国から好評を得ています。



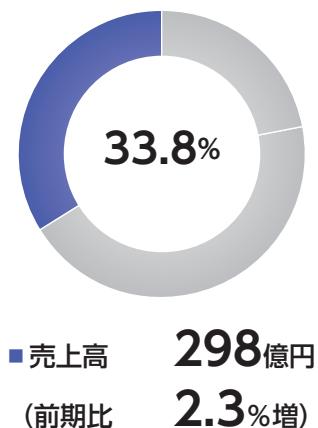
産業資材事業

ウレタンは、寝具・家具・雑貨用など主力商品がそれぞれ好調に推移し、前年売上を上回りました。

断熱資材は、スチレン製品でブロックの拡販により、前年売上を上回りましたが、ボード製品、システム製品は建築向けの回復が遅れ、パネル製品も仮設ハウス向けが落ち込み、全体として前年売上を下回りました。

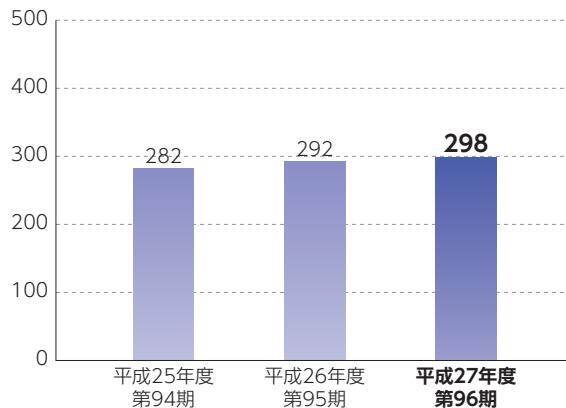
工業資材は、静電気対策品がスマートフォン向け需要減退の影響を受け、また、半導体分野では主要顧客での在庫調整や切替の影響により、前年売上を下回りました。

セグメント別売上高



産業資材事業売上高推移

単位：億円



プロダクト インフォメーション



ムマックフォーム

SUFREフォーム

瞬反発フォーム



ウレタンフォームマットレス 「フレアベル SUFRE X」

「フレアベル SUFRE X」は、通気性・体圧分散・寝返りのしやすさ・寝姿勢のサポートに優れた3つのフォームを積層した、当社のウレタン技術が結集したマットレスです。



静電気対策クッションマット 「ソフマット-D」

静電気対策が必要なエリアに向けた立ち作業用マットです。帯電防止機能に加え、適度なクッション性で足の疲労を軽減します。



吹付け硬質ウレタンフォーム 「アキレスエアロンFR-FO」

新発泡剤(HFO)を採用した「アキレスエアロンFR-FO」は、高い断熱性能と環境負荷軽減の両立を実現したノンフロン吹付け硬質ウレタンフォームです。

アキレスのCSR

平成28年2月、当社役員を中心とする経営幹部によるCSR勉強会を開催いたしました。

近年、企業におけるCSRの重要性が高まるなか、当社におけるCSR強化に関する取り組みとしては、昨年のCSR報告書「アキレスのCSR2015」発行に続く試みとなりました。勉強会では、他社の取り組み事例や地球規模におよぶサステナビリティ(持続可能性)の重要性、当社の活動計画案などについて活発な議論が交わされました。

このような活動に継続的に取り組むことで、経営戦略へのCSRの反映、グループ全体へのCSR方針の浸透を目指し、より社会に貢献できる企業活動を目指してまいります。



アキレス・ソルボ初の直営店「アキレス・ソルボ 横浜元町店」をオープン

平成27年12月11日、横浜元町商店街(神奈川県横浜市中区)にアキレス・ソルボの直営1号店となる「アキレス・ソルボ 横浜元町店」をオープンいたしました。

売場の面積は約19.5坪です。アキレス・ソルボに加え、インソールなどのソルボセイン製品も同時展開し、アキレス・ソルボの世界観をトータルに体験いただくスペースとなっております。

元町商店街は横浜を代表するショッピングストリートで、観光客に加え、近隣の居住エリアからも多くのお客様がいらっしゃいます。

そのようなお客様とのコミュニケーションを通じて、積極的にお客様の声を拾うことも直営店であるからこそできることです。

ブランドおよび商品に精通した販売員を揃え、アキレス・ソルボ商品の良さをこの店舗から積極的に発信してまいります。



「ナビカーゴ」JIDAデザイン賞受賞

JIDAデザインミュージアムセレクションvol.17において当社のレスキューボート「ナビカーゴNC-330」がデザイン賞を受賞しました。「ナビカーゴNC-330」は、ボートに不慣れな被災者を円滑に救助できるよう配慮した避難救助用ボートで、災害現場で実際に救助活動に携わった救助隊員の要望を取り入れた機能性と独自性が評価されました。

幅広いジャンルの製品から魅力的で社会に貢献する質の高い製品が選ばれるなか、日本のトップ企業の製品と肩を並べる受賞となり、当社にとって大変名誉あるものとなりました。



※JIDA=公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会

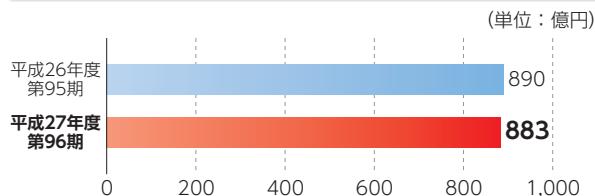
山形アキレスエアロン株式会社 操業開始

平成28年2月、山形県最上郡金山町にて当社100%子会社である山形アキレスエアロン株式会社が本格的に操業を開始いたしました。これにより、近年販売を伸ばしている寝具や雑貨等のウレタン加工品の生産能力が向上しました。併せて地元に着した生鮮食品関連などの緩衝材用途に向けた在庫スペースの確保が可能となり、さらなる事業の強化が見込まれます。

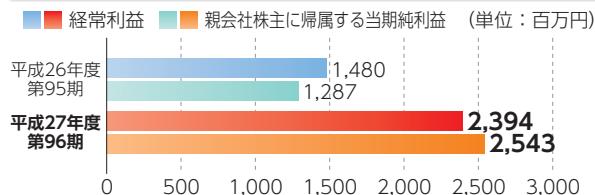
また、工場には当社が独自に開発した製造設備を導入することで、コスト削減に寄与するとともに既存設備では製造できなかった商品の提案も可能となりました。今後も新規開拓に注力するとともに、事業の一層の発展に取り組んでまいります。



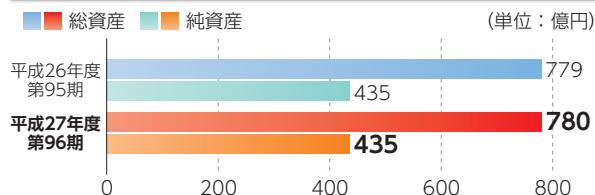
売上高



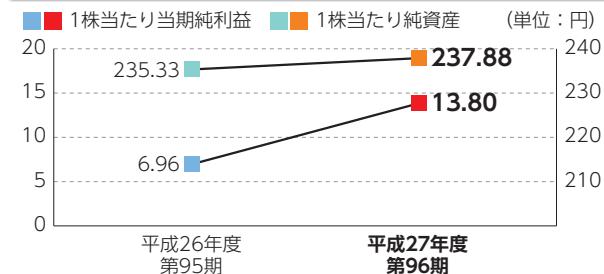
経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産



1株当たり当期純利益・1株当たり純資産



● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 平成28年3月31日現在	前連結会計年度 平成27年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	50,473	49,270
固定資産	27,534	28,706
有形固定資産	18,393	19,067
無形固定資産	539	672
投資その他の資産	8,601	8,966
資産合計	78,007	77,976
【負債の部】		
流動負債	25,489	28,188
固定負債	8,976	6,236
負債合計	34,466	34,424
【純資産の部】		
株主資本	42,357	40,872
その他の包括利益累計額	1,183	2,679
純資産合計	43,541	43,552
負債・純資産合計	78,007	77,976

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
売上高	88,344	89,056
売上原価	70,943	72,775
売上総利益	17,400	16,281
販売費及び一般管理費	15,534	15,367
営業利益	1,865	913
営業外収益	699	713
営業外費用	170	146
経常利益	2,394	1,480
特別利益	2,039	726
特別損失	380	415
税金等調整前当期純利益	4,053	1,790
法人税、住民税及び事業税	564	525
法人税等調整額	945	△22
当期純利益	2,543	1,287
親会社株主に帰属する当期純利益	2,543	1,287

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,883	2,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△851	△2,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,083	△586
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	829	△889
現金及び現金同等物の期首残高	7,126	8,015
現金及び現金同等物の期末残高	7,955	7,126

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	14,640	10,708	16,251	△728	40,872	1,050	92	1,102	434	2,679	43,552	
当期変動額												
剰余金の配当			△740		△740						△740	
親会社株主に帰属する当期純利益			2,543		2,543						2,543	
自己株式の取得				△318	△318						△318	
自己株式の処分		0		0	0						0	
自己株式の消却		△965		965	-						-	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						6	△480	△213	△808	△1,496	△1,496	
当期変動額合計	-	△965	1,803	647	1,485	6	△480	△213	△808	△1,496	△10	
当期末残高	14,640	9,742	18,055	△81	42,357	1,056	△388	888	△373	1,183	43,541	

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

会社概要 / 株式の状況

● 会社概要 (平成28年3月31日現在)

設立	昭和22年5月
資本金	14,640,795,671円
従業員数	1,351名
本社	〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー
関西支社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階
営業所	北海道営業所 / 東京営業所 大阪営業所 / 九州営業所 その他4営業所

工場	足利第一工場 / 足利第二工場 / 足利第三工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
主な連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯 (上海) 国際貿易有限公司 アキレスコアテック(株) 関東アキレスエアロン(株) 大阪アキレスエアロン(株) その他17社

● 役員 (平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	伊藤 守	(製造部門管掌兼生産革新担当)
専務取締役	小林 英明	(営業部門統轄兼プラスチック部門担当)
常務取締役	美濃 眞	(営業部門統轄兼プラスチック部門担当)
取締役	藤澤 稔	(経理本部長)
取締役	日景 一郎	(営業部門統轄補佐兼産業資材部門担当兼購買担当)
取締役	荒木 謙一郎	(CSR・人事総務担当兼コンプライアンス本部長)
取締役	永島 照明	(シューズ部門担当兼シューズ製造本部長)
取締役	米竹 孝一郎	
常勤監査役	富川 隆	
常勤監査役	山田 茂	
監査役	須藤 昌子	
監査役	有賀 美典	

注記 1. 取締役米竹孝一郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役須藤昌子氏および有賀美典氏の両氏は、社外監査役であります。

● 株式の総数等 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数	700,000,000株
発行済株式の総数	183,627,147株
株主数	16,539名

● 株式分布状況 (平成28年3月31日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式588千株があります。

● 執行役員 (平成28年6月29日現在)

執行役員	柏瀬 功次	(建築事業部長兼デザインセンター長)
執行役員	山本 勝治	(ウレタン事業部長兼支社ウレタン販売部長)
執行役員	小林 俊也	(滋賀地区製造担当兼製造管理本部長)
執行役員	小大 蔵一孝	(車輻資材事業部長)
執行役員	大宮 寄徹	(関西支社長兼支社総務部長)
執行役員	嶋倉 茂夫	(プラスチック製造本部長兼プラスチック工場長兼製品設計部長)
執行役員	松田 光弘	(断熱資材事業部長兼支社断熱資材販売部長)
執行役員	鈴木 卓郎	(ACHILLES USA, INC. 社長)
執行役員	中野 直樹	(研究開発本部長兼研究開発部長)
執行役員	海野 実夫	(シューズ事業部長兼シューズ営業本部長兼商品部長)
執行役員	根岸 康夫	(化成品事業部長兼フィルム販売部長)
執行役員	寺岡 伸明	(人事総務部長)
執行役員	松宮 稔	(物流改革担当兼情報システム部長)
執行役員	横山 浩樹	(産業資材製造本部長兼工業資材工場長)

● 大株主 (平成28年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	9,088	4.97
東京アキレス協和会	6,783	3.71
足利アキレス協和会	5,521	3.02
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,403	2.41
みずほ信託銀行株式会社	4,318	2.36
朝日生命保険相互会社	4,315	2.36
大阪アキレス協和会	4,215	2.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,897	2.13
株式会社足利銀行	3,436	1.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,411	1.86

注記 上記のほか、当社保有の自己株式588千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度 剰余金の配当基準日	毎年4月1日から翌年3月31日まで 3月31日 中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会 単元株式数 株主名簿管理人	6月中 1,000株 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジ除く)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 (トラストラウンジ除く) みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公 告 方 法 電子公告 (<http://www.achilles.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のご案内

お問い合わせは、当社「株主優待係」まで
(電話03-5338-9205)

ジュニアスポーツシューズのトップブランド「瞬足」と、高機能スーパークッション「SORBOTHANE」を踵部に装着し、歩きやすく、疲れにくいウォーキングシューズ「ACHILLES SORBO(アキレス・ソルボ)」、そして医療の現場から生まれた衝撃吸収・圧力分散素材「SORBOTHANE」の特性を活かしたインソール、サポーターなどを1,000株以上ご所有の株主の皆様へ、ご優待価格でお買い求めいただけます。

ACHILLES SORBO



あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles

UD
FONT

